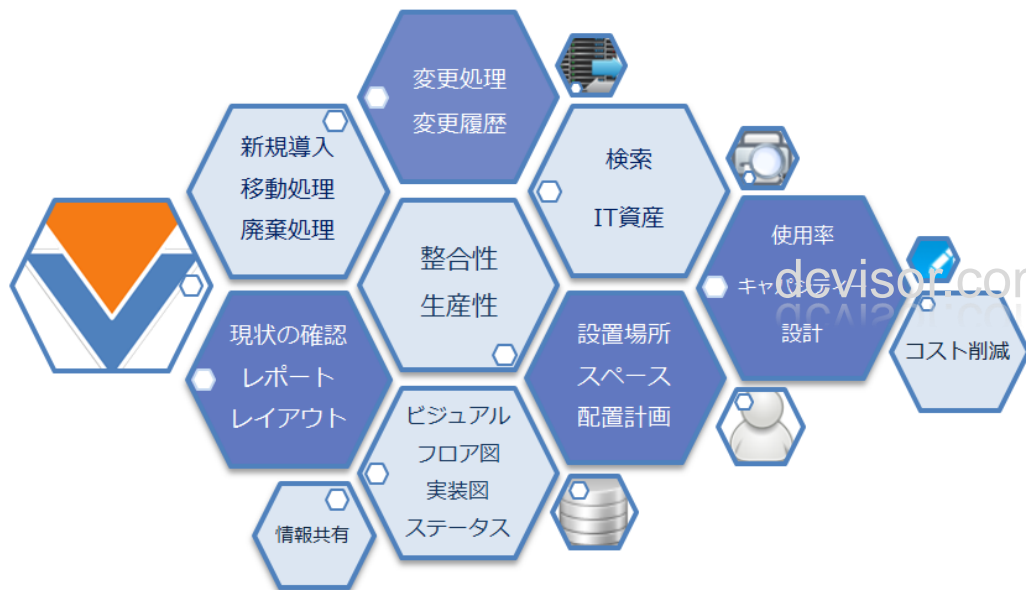


## データセンターにおけるIT資産管理の見える化



- 1 機器の導入から追加・変更・廃棄など、一連のライフサイクルをデータとビジュアル情報で連動、図面と物理インフラのクリティカルなギャップを埋めました。
- 2 機器及び什器の現在構成、設置場所、ステータスを素早く把握し、IT機器の移動・変更等設置計画や棚卸に活用出来ます。

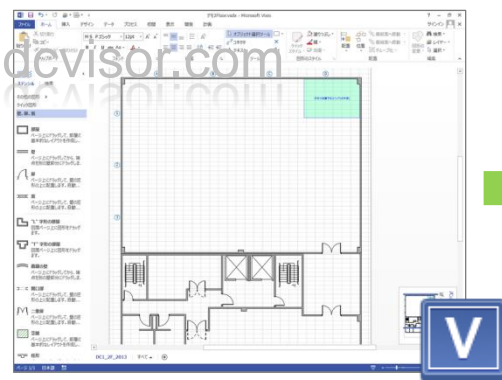
- ・ビジュアルで全体像を正確に把握
- ・正確なテキスト情報で的確なマネジメントを可能にします。
- ・消費電力、重量、発熱を集計し機器設置計画に寄与します。

- ・DBから機器構成情報を取得し、ラック搭載図を都度自動表示を可能にします。
- ・これにより面倒なラック搭載図作成作業とドキュメント管理から開放します。

- ・機器の新規導入、移動、廃棄の作業ビジュアルで直感的に処理します。
- ・変更内容を履歴に残し作業確認及び的確な作業指示書作成を可能にします。

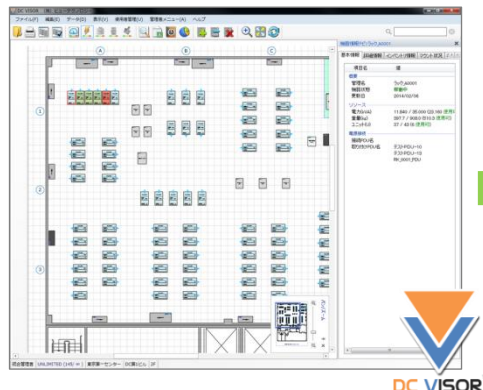
プログラムからコントロールされたVisioによる簡単な操作が可能  
ダウンロードやアップロードでも切れないデータリンク

面倒な複数ラックにまたがる機器移動や設置計画が  
ラックの並列表示により容易になる

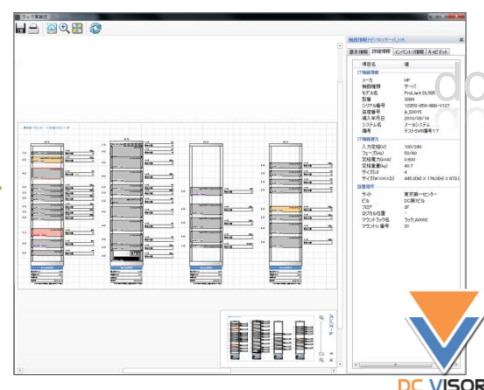


■ Visioで寸法通りのフロアを簡単に作図

※ Microsoft® Visio、ExcelはMicrosoft 社の登録商標です



■ DC VISORに登録した後、入力したデータと  
図面上に配置したラック、サーバなどと紐付け



■ 実装図は構成データを基にVisio図面形式で  
自動作成。Visio/PDFファイルに出力もOK



新規データはExcelで  
作成取込みも可能

## 変更履歴管理

変更内容は履歴として記録



<移動処理画面>



DBにその内容を反映



<変更履歴照会画面>



変更履歴をCSVに書き出し  
作業指示書に活用!

■ 管理する各機器はビジュアルUI画面上で新規・移動・廃棄処理と言った変更処理を行い、その履歴を残します。

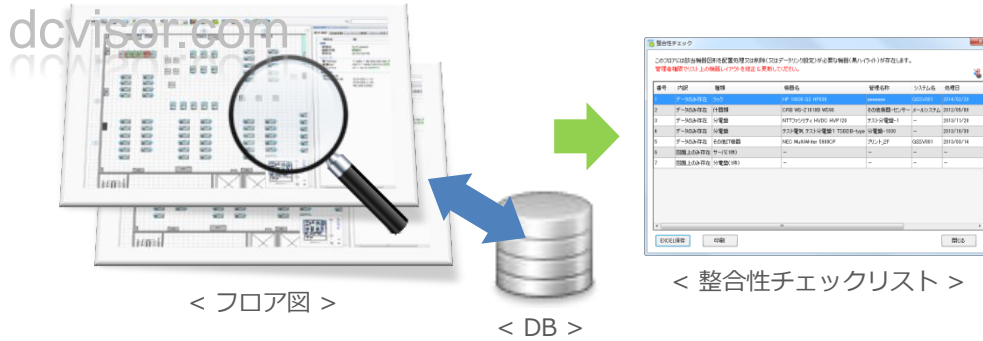
■ 変更履歴は検索、必要に応じて書き出し(CSV)が可能です。

■ 履歴データは実装作業の作業指示書となります。

■ 履歴情報は機器のライフサイクル管理が可能となります。

■ 履歴データは作業完了報告書として検収に利用できます。

図面上の機器構成とDB上の機器構成を照合、整合性が合っていないデータを教えてくれます。



### 整合性の維持

履歴データによる変更依頼との比較確認

図面上の機器とDB上の該当データの存在を確認照合します

### 管理アセスメントに則った運用手順

履歴データ、変更図面との照合、実装との確認し承認する。

ラック毎の搭載機器数、荷重、発熱及び電力はラック、PDU、分電盤ブレーカー毎に設計値を設定し、閾値超えをメッセージで通知します

### 資産データとの棚卸

ラック搭載図及びラック毎の搭載リストによる実装との比較照合で正確な資産情報を維持管理する

## センターの効率運用・問題点の把握

管理ロケーションのリソース情報を一目で確認



### ダッシュボード

運用管理しているサイトの“電力”、“ラックユニット”、“ラックの重量”など使用しているリソースとそのキャパシティの情報が一目で確認可能です。

### 期待効果

散財しているデータ、人に依存していたデータの一元管理とその見える化により、管理アセスメントに則った管理手順の統一化が出来ることを期待しております。